

株主・投資家のみなさまへ

第93期 中間報告書

平成22年4月1日から平成22年9月30日まで

神鋼商事ホームページ

<http://www.shinsho.co.jp>

最新の当社IR情報等をご覧ください。



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

期末配当金受領
株主確定日 3月31日

中間配当金受領
株主確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先
(お問合わせ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京・大阪の各証券取引所

公告方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shinsho.co.jp>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に掲載いたします。)

【お知らせ】

1. ご注意

- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

2. 配当金計算書について

同封いたしております「配当金計算書」は租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取になった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。なお、配当金を証券口座でお受取り（株主数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。



神鋼商事 株式会社

〒541-8557 大阪市中央区北浜2丁目6番18号

電話 (0120)580-217

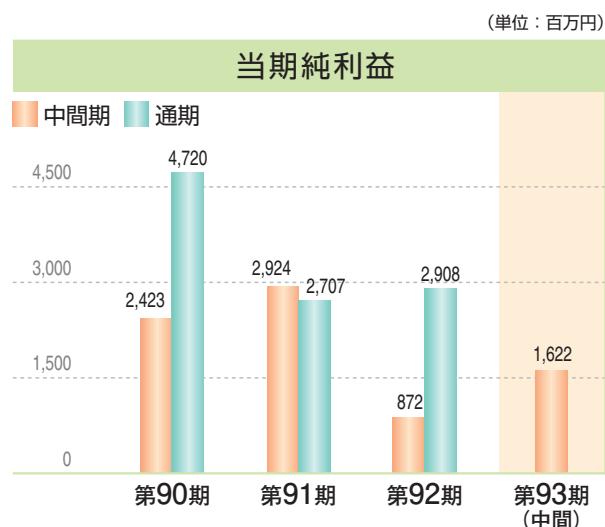
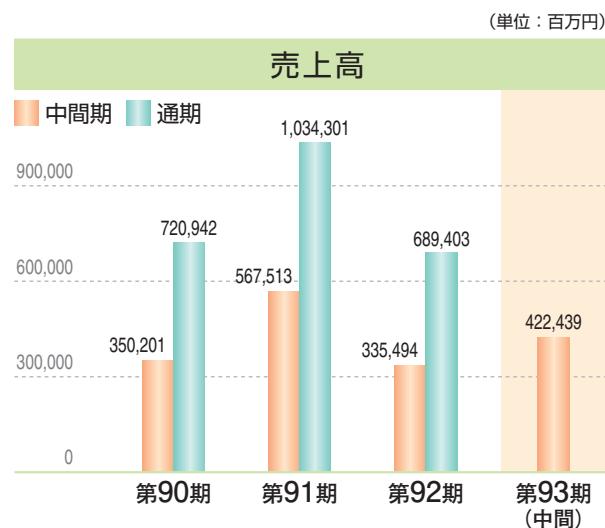
<http://www.shinsho.co.jp>



神鋼商事 株式会社

証券コード：8075

財務ハイライト（連結）



C O N T E N T S

財務ハイライト(連結)	1
株主のみなさまへ	2
連結部門別概況	3・4
連結決算	5・6
神鋼商事グループ 海外ネットワーク	7
グローバルビジネスの加速	8
株式の状況	9
役員／会社概要／事業所	10

株主のみなさまへ

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
平素は格別のご支援とご高配を賜り有難く厚くお礼申し上げます。
さて、第93期中間期（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）の概況についてご報告申し上げます。

当中間期におけるわが国経済は、エコカー補助金・減税、家電エコポイントによる消費刺激効果や中国を中心とした新興国向けの需要が好調に推移し、企業の景況感は緩やかな回復基調となりましたが、不安定な国際金融情勢や急激な円高の進行など景気の動向は不透明なまま推移してまいりました。

このような環境におきまして、当社グループは、自動車・家電業界向けを中心とした取扱いが好調に推移したほか、本年7月にアラブ首長国連邦にドバイ駐在員事務所を開設するなどグローバルビジネスの強化・加速を図ってまいりました。

当中間期の業績につきましては、売上高は422,439百万円（前年同期比25.9%増）、営業利益は3,664百万円（前年同期比55.3%増）、経常利益は2,960百万円（前年同期比69.6%増）となりましたが、特別利益として貸倒引当金戻入益202百万円を、特別損失として投資有価証券評価損など643百万円を計上したことから中間純利益は1,622百万円（前年同期比86.0%増）となりました。

当期の中間配当金につきましては、1株につき2円50銭とし、お支払い開始日を12月3日とさせていただきます。なお、1株あたりの年間配当金は5円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、何とぞ今後とも変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月



代表取締役社長
村瀬 敬一

連結部門別概況

鉄鋼セグメント



自動車向け等の線材製品

線材製品はエコカー補助金などによる景気刺激策により自動車業界向けの取扱いが増加し、鋼板製品も中国向け輸出を中心に取扱いが増加しました。また、棒鋼製品は建設業界向け取扱いが減少しましたが、自動車業界向け特殊鋼の取扱いが増加し、鉄鋼二・三次製品も主に設備投資が回復したことから取扱いが増加しました。

これらにより、鉄鋼セグメントの売上高は128,246百万円となり、セグメント利益は1,322百万円となりました。

鉄鋼原料セグメント



豪州MORANBAH NORTH炭鉱

粗鋼生産の大幅な増加により、鉄鉱石、石炭など輸入鉄鋼原料および合金鉄の取扱いが大幅に増加しました。また、冷鉄源も電炉メーカーの需要回復により鉄スクラップの取扱いが増加しました。一方、チタン原料は数量、価格ともに低迷したことから取扱いが減少しました。

これらにより、鉄鋼原料セグメントの売上高は165,532百万円となり、セグメント利益は395百万円となりました。

非鉄金属セグメント



蘇州神商金属有限公司 アルミコイルセンター

銅製品は自動車および半導体業界の需要回復により銅板条の取扱いが増加し、家庭用エアコン向け需要が好調であったことから銅管の取扱いも増加しました。また、アルミ製品は印刷板向けおよび家庭用エアコン向けアルミ板条の取扱いが増加し、液晶製造装置向けアルミ加工品の取扱いも増加しました。さらに、非鉄原料も銅・アルミ地金の需要増から取扱いが増加しました。

これらにより、非鉄金属セグメントの売上高は106,034百万円となり、セグメント利益は521百万円となりました。

機械・情報セグメント



スクリュ式小型蒸気発電機「スチームスター」

機械製品は国内向け圧縮機製品が好調を維持したものの、製鉄所向けなどの大型案件が依然として低調に推移したため取扱いが減少しました。一方、情報産業関連製品はタッチパネルの需要増により電子材料の取扱いが増加しました。

これらにより、機械・情報セグメントの売上高は21,914百万円となり、セグメント利益は108百万円となりました。

溶材セグメント



溶接材料(フラックス・コールド・ワイヤー)

溶接材料は国内の造船・建築鉄骨・化工機業界向けの需要が減少しましたが、建設機械・自動車業界向けの需要が増加したことに加え、海外プラント向け需要が堅調に推移したことから取扱いが増加しました。また、生産材料も溶接材料の増産により取扱いが増加しました。

これらにより、溶材セグメントの売上高は25,330百万円となり、セグメント利益は377百万円となりました。

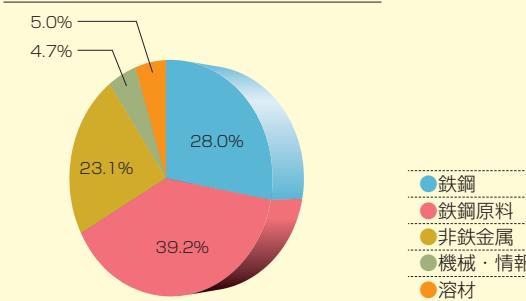
連結部門別売上高の構成

(単位:百万円)

セグメント	第93期中間期
鉄 鋼	128,246
鉄 鋼 原 料	165,532
非 鉄 金 属	106,034
機 械 ・ 情 報	21,914
溶 材	25,330
連 結 消 去	△24,617
合 計	422,439

(注) 当期から各セグメントの売上高を連結消去前の数値にて表示しております。

連結



連結決算

中間貸借対照表(要旨)

(百万円未満切捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第92期 平成22年3月31日現在	第93期中間期 平成22年9月30日現在
資産の部		
流動資産	178,295	192,799
現金及び預金	16,397	15,253
受取手形及び売掛金	134,417	139,411
たな卸資産	16,787	19,963
その他	10,692	18,171
固定資産	25,068	24,160
有形固定資産	4,012	3,863
無形固定資産	468	388
投資その他の資産	20,588	19,908
資産合計	203,364	216,960
負債の部		
流動負債	160,641	174,949
支払手形及び買掛金	120,000	120,823
その他	40,640	54,125
固定負債	19,030	17,460
負債合計	179,671	192,410
純資産の部		
株主資本	24,490	25,758
資本金	5,650	5,650
資本剰余金	2,703	2,703
利益剰余金	16,153	17,421
自己株式	△16	△16
評価・換算差額等	△2,419	△2,968
少数株主持分	1,620	1,759
純資産合計	23,692	24,549
負債及び純資産合計	203,364	216,960

中間損益計算書(要旨)

(百万円未満切捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第92期中間期 平成21年4月1日～平成21年9月30日	第93期中間期 平成22年4月1日～平成22年9月30日
売上高	335,494	422,439
売上原価	326,449	411,757
売上総利益	9,044	10,682
販売費及び一般管理費	6,685	7,018
営業利益	2,359	3,664
営業外収益	985	1,159
営業外費用	1,599	1,862
経常利益	1,745	2,960
特別利益	133	202
特別損失	198	643
税金等調整前中間純利益	1,680	2,520
法人税、住民税及び事業税	457	745
法人税等調整額	311	115
少数株主利益	38	38
中間純利益	872	1,622

中間キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(百万円未満切捨て)

科目	(単位：百万円)	
	第92期中間期 平成21年4月1日～平成21年9月30日	第93期中間期 平成22年4月1日～平成22年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,235	△2,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	414	△234
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,633	1,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	183	△75
現金及び現金同等物の増減額	7,200	△1,156
現金及び現金同等物の期首残高	10,559	16,395
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	117	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	17,877	15,237

中間株主資本等変動計算書

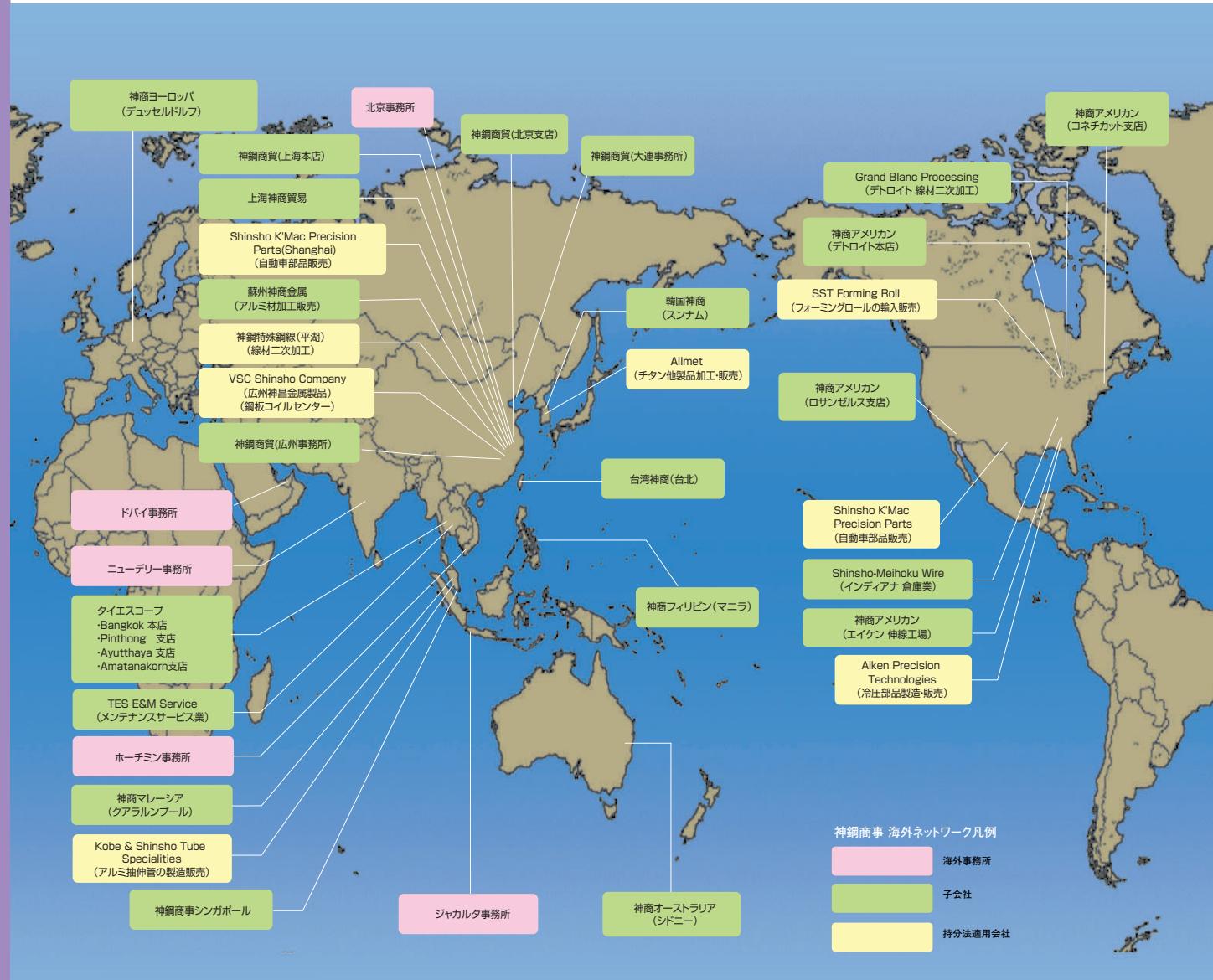
(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(百万円未満切捨て)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成22年3月31日 残高	5,650	2,703	16,153	△16	24,490	15	△35	△2,399	△2,419	1,620	23,692
中間連結会計期間中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△354	—	△354	—	—	—	—	—	△354
中間純利益	—	—	1,622	—	1,622	—	—	—	—	—	1,622
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	△365	41	△225	△548	138	△410
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	1,267	△0	1,267	△365	41	△225	△548	138	857
平成22年9月30日 残高	5,650	2,703	17,421	△16	25,758	△350	6	△2,624	△2,968	1,759	24,549

神鋼商事グループ 海外ネットワーク



グローバルビジネスの加速

当社グループは「KOBELCO（神戸製鋼所グループ）の中核となるグローバル商社を目指す」をビジョンとし、「グローバルビジネスの加速」、「商社機能の強化」、「経営基盤の充実」を全体戦略とした長期経営ビジョンを今年5月に発表いたしました。

「グローバルビジネスの加速」につきましては、次のとおり各拠点別の戦略を定め、強化・加速を図っております。

各拠点別戦略

ヨーロッパ

- ・神商ヨーロッパ（ドイツ・デュッセルドルフ）を中心に、欧州企業との中近東、アジアにおけるビジネスの拡大

北米

- ・自動車向け線材を中心とする事業投資型ビジネスの拡充
- ・機械・情報部門、非鉄金属部門の新ビジネスの開拓
- ・新鉄源を中心とする原料ビジネスの拡大

中国

- ・神鋼商貿の拠点拡充
- ・線材加工、鋼板コイルセンター、アルミコイルセンター、タイヤ機械製造、溶接材料製造の各拠点拡充による取引拡大
- ・アルミ厚板、情報関連加工事業への進出検討

アジア

- ・ベトナム、インドネシアにおけるビジネスの拡大（ホーチミン、ジャカルタ事務所の現地法人化）
- ・タイ、マレーシア、シンガポール、フィリピン、インドネシア、台湾、韓国の各拠点間の連携強化

中近東

- ・ドバイ事務所を基点として、機械設備を中心に、中近東域内、アジアでのビジネス・チャンスを開拓

インド

- ・神戸製鋼グループのインド進出に対応した基盤整備・強化（ニューデリー事務所の現地法人化検討）

豪州・オセアニア

- ・神商オーストラリアを拠点に鉄鋼原料ビジネスの拡大（鉄鉱石・石炭の権益投資）

ブラジル（将来拠点）

- ・資源、エネルギー等の新規事業の開発拠点

株式の状況

(平成22年9月30日現在)

●株式の概況

発行可能株式総数 270,000,000株

発行済株式総数 88,573,868株
(自己株式 31,757株を除く)

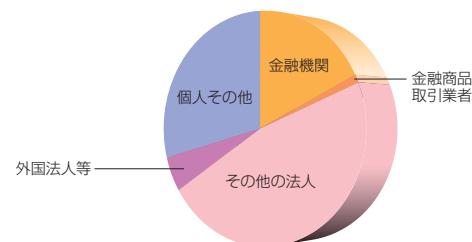
株主数 5,266名

●大株主 (上位10名)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)	株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
みずほ信託銀行(株) (退職給付信託 神戸製鋼所口)	19,062	21.52	日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	1,745	1.97
(株)神戸製鋼所	11,791	13.31	シンフォニアテクノロジー(株)	1,500	1.69
神商取引先持株会	5,072	5.73	日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,164	1.31
(株)三菱東京UFJ銀行	2,183	2.47	神鋼商事従業員持株会	1,117	1.26
(株)三井住友銀行	2,068	2.34	日本生命保険相互会社	1,067	1.20

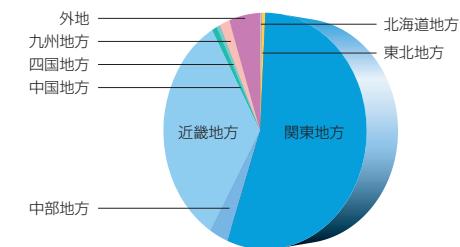
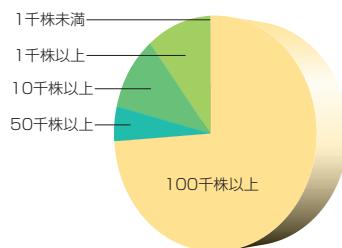
(注) 出資比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式の分布状況



【所有株数別】

所有株数	名	千株	%
100千株以上	76	65,635	74.1
50千株以上	65	4,299	4.9
10千株以上	539	9,366	10.6
1千株以上	4,114	9,261	10.4
1千株未満	472	44	0.0
合計	5,266	88,605	100.0



【地域別】

地域別	名	千株	%
北海道地方	68	231	0.3
東北地方	93	384	0.4
関東地方	1,765	48,467	54.7
中部地方	741	2,551	2.9
近畿地方	1,818	30,044	33.9
中国地方	249	667	0.7
四国地方	158	467	0.5
九州地方	292	1,401	1.6
外地	82	4,393	5.0
合計	5,266	88,605	100.0

役員 (平成22年9月30日現在)

【取締役および監査役】

代表取締役社長	村瀬敬一
代表取締役	原三郎
代表取締役	名波正夫
取締役	小村信綱
取締役	永井庸晴
取締役	笹川浩史
取締役	佐藤育夫
取締役	渡辺彰
監査役(常勤)	中村三二
監査役(常勤)	永野洋邦
監査役	稲葉嘉昭
監査役	平野重蔵

【執行役員】

※ 社長	村瀬敬一
※ 専務執行役員	原三郎
※ 専務執行役員	名波正夫
※ 専務執行役員	小村信綱
※ 専務執行役員	永井庸晴
※ 常務執行役員	笹川浩史
常務執行役員	佐藤育夫
常務執行役員	松本博明
常務執行役員	新藤和敏
常務執行役員	小林清文
常務執行役員	大西健司
執行役員	森田哲也
執行役員	松尾久幸
執行役員	岡本利一
執行役員	大田修徳
執行役員	加藤宏宏
執行役員	廣野安生
執行役員	中井通雄
執行役員	松原美弘
執行役員	渡辺寛

(注) 上記※印の各氏は取締役を兼務しております。

会社概要

設立 昭和21年11月12日

発行済株式総数 88,605,625株

資本金 5,650,281,250円

主要取扱品目 鉄鋼、鉄鋼原料、非鉄金属、機械、
情報産業関連商品、溶材

事業所

大阪本社	大阪市中央区北浜2丁目6番18号
東京本社	東京都中央区日本橋1丁目2番5号
名古屋支社	名古屋市中村区名駅3丁目28番12号
神戸支社	神戸市中央区脇浜町2丁目11番14号
九州支社	福岡市博多区博多駅中央街1番1号
支店	中国(広島)、静岡、北陸(富山)、 東北(仙台)、札幌
出張所	熊本、長府、徳山、加古川、岐阜、群馬

海外拠点

- 海外事業所 中国、インドネシア、ベトナム、インド、アラブ首長国連邦
- 子会社 米国、ドイツ、オーストラリア、中国、タイ、シンガポール、韓国、フィリピン、台湾、マレーシア
- 持分法適用会社 米国、中国、韓国、マレーシア